

<最新ドライバ情報>

Matrox M シリーズ Windows XP 用最新ドライバ “ Matrox PowerDesk 2.08 SE ”

最新ドライバは Matrox 社の HP よりダウンロードいただけます。

<http://www.matrox.com/graphics/en/support/drivers/>

ユーザーインターフェースについて

[スタート] [全てのプログラム] [Matrox Graphics Inc.] [PowerDesk SE]で起動します。



各項目における機能は下記のとおりです。

Multi-Display Setup

モニタの接続数、独立・伸張・クローンモードなどの各種設定を行う

Desktop Management

アプリケーション、アラートの表示画面などを指定する

Bezel Management

モニタのベゼル（フレーム部分）幅で画像がずれないように、ベゼル幅分をずらして表示するよう設定する

Keyboard Shortcuts

キーボードショートカットに下記の機能を割り当てる

- ・ マウスカーソルの位置を表示（カーソル部分以外が青色画面になる）
- ・ アクティブウィンドウを次のモニタへ移動させる（1 2 3 4 1…）

System Setting

Windows のログイン画面を指定する

Administrator Options

DesktopManagement の各機能にユーザー制限を追加できる。パスワード入力を求めたり、任意のユーザーのみ変更できるように設定する

Help and Troubleshooting

ヘルプ機能と Matrox 社サポートへのリンク

About

バージョン情報の表示

新機能について

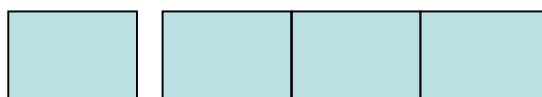
新ドライバで実現した新機能は下記のとおりです。

1. 伸張モード

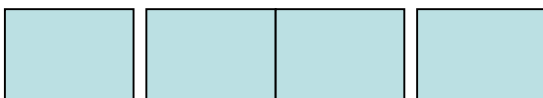
従来のドライバでは、接続した全てのモニタにまたがったストレッチ表示しかできませんでしたが、Matrox PowerDesk 2.08 SE ドライバ（以下 2.08 ドライバ）では接続したモニタのうちの 2 面以上の任意のモニタでストレッチ表示を行うことが可能になりました。



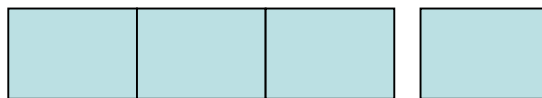
①2+2：2面ごとにストレッチ表示



②1+3：2～4画面目の3面でストレッチ表示



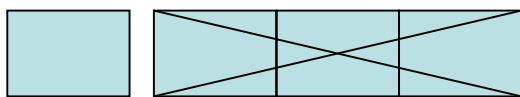
③1+2+1：真ん中の2面でのみストレッチ表示



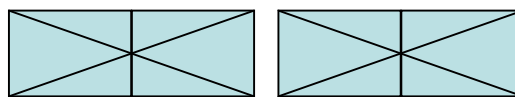
④3+1：1～3画面目の3面でストレッチ表示

2. Bezel Management 機能

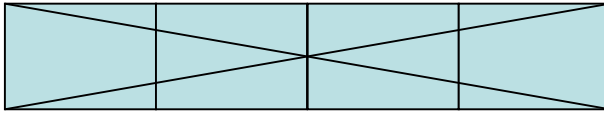
伸張モード機能の拡張に伴い、接続したモニタのうち 2 面以上の任意のモニタで Bezel Management 機能を使用することが可能になりました。また、左右のベゼル幅だけでなく上下のベゼル幅調整や縦表示したモニタでのベゼル幅調整も可能です。



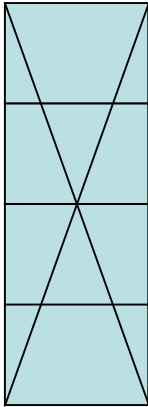
①2～4画面目でストレッチ表示し、Bezel Management機能を使用



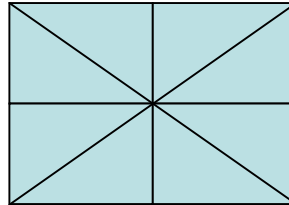
②1～2画面目、3～4画面目でそれぞれストレッチ表示し、Bezel Management機能を使用



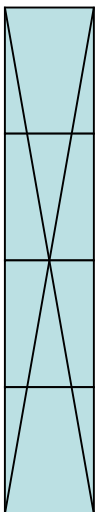
③1~4画面にわたりストレッチ表示し、
Bezel Management機能を使用



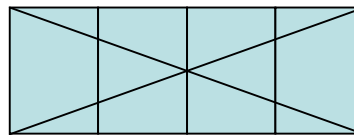
④4×1で表示した1~4画面に
わたりストレッチ表示し、
Bezel Management機能を使用



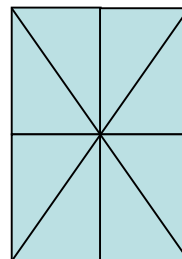
⑤2×2で表示した1~4画面にわたり
ストレッチ表示し、
Bezel Management機能を使用



⑥縦型で4×1表示した1~4
画面にわたってストレッチ
表示し Bezel Management
機能を使用



⑦縦型で1×4表示した1~4
画面にわたってストレッチ表
示し、Bezel Management機
能を使用



⑧縦型で2×2表示した1~4
画面にわたってストレッチ表示し
Bezel Management機能を使用

3. クローンモード

接続したモニタのうち、2面以上の任意のモニタにクローン表示をすることが可能になりました。下記の のように設定し、1画面目をコンソール画面にして、そのほかのモニタにクローン表示をすることもできます。



①1画面目にAを表示し、2~4画面目にBをクローン表示



②1~3画面目にAをクローン表示し、4画面目にBを表示



③1~2画面目にAをクローン表示し、3~4画面目にBをクローン表示

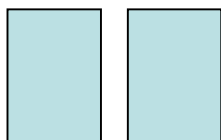


④1画面目にAを表示、2~3画面目にBをクローン表示、4画面目にCを表示

4 . Dual-Link 解像度での縦型表示に対応 (M9125/512PEX16 のみ)

1600×2560の縦型表示が可能になりました。また、1600×2560のモニタを2台接続でき、伸張モードの設定や Bezel Management 機能を使用することもできます。

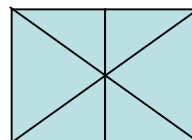
①縦型表示



②縦型表示 + 横方向伸張



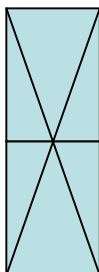
③縦型表示+ Bezel Management



④縦型表示 + 縦方向伸張



⑤縦型表示 + Bezel Management



5 . 最大8面のモニタでベゼル幅調整が可能

従来のドライバでも、2枚のボードを使用してボードをまたがったクローン表示や伸張モード表示をすることは可能でしたが、2.08ドライバではさらに2枚のボードをまたがって Bezel Management 機能を使用することも可能になりました。最大8面のモニタ上で Bezel Management 機能を使用した表示が可能です。下記のように、モニタの縦横の構成にも柔軟に対応します。

